

## 第3学年 家庭科 シラバス

### 1 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

### 2 評価の観点と内容・評価方法

| 評価の観点             | 評価項目（評価規準）                                                                     | 評価題材・評価場面                           |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| I 知識・技能           | 生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。                                          | ・授業の様子・提出物<br>・作業の取り組み状況            |
| II 思考・判断・表現       | 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている             | ・授業プリント<br>・レポート・作品提出<br>・実技実習・定期考査 |
| III 主体的に学習に取り組む態度 | よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 |                                     |

### 3 年間指導計画

| 学期 | 1 学期                   | 2 学期                                                                              | 3 学期         |
|----|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------|
|    | A 家族・家族生活<br>・幼児の生活と家族 | A 家族・家族生活<br>・幼児とのかかわり<br>(総合的な学習の時間の保育体験との関連)<br>B 衣食住の生活（衣分野）<br>・生活を豊かにするものの製作 | ・家庭生活と地域の関わり |

### 4 評価基準・学習のポイント

#### 評価 B の基準

- ・提出物や作品を期限までに提出、完成させる。
- ・プリントをすべて記入している。
- ・課題解決に向けて工夫し、意欲的に調べたり、取り組んだりしている。

#### 学習を進めていくときのポイント

- ☆授業・・・日常とのつながりを意識して、自分なりの考えを持って積極的に授業に参加する。
- ☆プリント・・・全部完成させてファイリングすること。プリントには穴埋めするだけでなく、説明の中で大事だと思うことをメモする。気づいたポイントなども記入するとよい。指示された期日に提出を行う。
- ☆実技実習・・・忘れ物をしないように事前に確認し、授業では積極的に参加する。

